

目次

略語.....	V
要約.....	VI
A. 序論.....	1
A-1. 評価の背景と目的.....	1
A-1-a. 「フェーズ2評価」の背景に関する認識.....	1
A-1-b. 目的.....	2
A-2. 評価のグランドデザイン.....	3
A-2-a. 評価の焦点.....	3
A-2-b. 評価の範囲.....	3
B. 方法論と限界.....	5
B-1. 文献調査.....	5
B-2. インタビュー調査.....	5
B-3. アンケート調査.....	5
C. ドナー本部（HQ）に関する調査結果.....	6
C-1. 文脈的要因.....	6
C-2. 総合的評価.....	9
C-3. 「コミットメント」の評価.....	14
C-3-a. 包括的な政策文書におけるコミットメントの評価.....	14
C-3-b. 「コミットメント」のアウトプットの評価.....	19
C-3-c. 評価と課題.....	22
C-4. 「能力」の評価.....	23
C-4-a. 組織的能力.....	23
C-4-b. 制度的能力.....	29
C-4-c. 評価と課題.....	33
C-5. 「インセンティブ」と「阻害要因」の評価.....	34
C-5-a. 個人レベル.....	34
C-5-b. 機関レベル.....	36
C-5-c. 政府レベル.....	38
C-5-d. 評価と課題.....	39
D. 一般的な評価ポイントに関する主な結論、教訓と提言.....	40
D-1. 主な結論と教訓.....	40
D-1-a. PD 原則について.....	40
D-1-b. 説明的側面からの評価.....	40
D-2. 提言.....	41
G. 「パリ宣言」以後に向けた示唆.....	44

G-1. より有効で包括的なパートナーシップを構築すること.....	44
G-1-a. 新興ドナー国との協調の深化	44
G-1-b. 様々な機能をもつ国以外の関係者との協力の深化.....	45
G-2. 「援助／開発効果の向上」の課題に更に焦点を据えること.....	45